



オクスラド通信

第3号
2016.7・8

学校法人 プール学院 法人本部 オクスラド基金 募金室

〒544-0033 大阪市生野区勝山北1-19-31 TEL (06)6741-7005 FAX (06)6731-2431
E-MAIL: bokin@poole.ed.jp

オクスラド通信 第3号をお届けします。

皆様の温かいお祈りとともに、オクスラド基金へのご協力をいただきありがとうございます。昨年夏に創刊をいたしましたオクスラド通信ですが、今回の第3号は、お支えの中実施をいたしました活動報告とともに、ご寄付を頂きました思いをご掲載させていただきました。ぜひお読みいただき感想とご意見をいただければ幸いです。



●委員長

坂本 スミ子 (石井寿美子) 高64回生

●副委員長

- 杉山 修一 (学校法人プール学院理事長)
- 鈴木 光子 (一般社団法人 POOLE 理事長 (プール学院同窓会))
- 益岡 淳一 (プール学院大学・短期大学部後援会長)
- 奥井 浩子 (プール学院中学校高等学校後援会長)
- 山下 なほみ (プール学院中学校・高等学校PTA会長)
- 蔵田 實 (プール学院大学・短期大学部学長)
- 内海 伸晃 (プール学院中学校高等学校長)
- 加藤 明宏 (学校法人プール学院法人事務局長)
- 成岡 宏晃 (プール学院中学校高等学校チャブレン)

●実行委員

- 古川 和子 (一般社団法人 POOLE (プール学院同窓会))
- 大塚 陽子 (一般社団法人 POOLE (プール学院同窓会))
- 竹原 夕子 (一般社団法人 POOLE (プール学院同窓会))
- 五十嵐 よし子 (プール学院大学同窓会ミツバ会)
- 八野 章 (プール学院大学・短期大学部後援会)
- 上原 ゆり (プール学院大学・短期大学部後援会)
- 宮澤 喜代美 (プール学院中学校高等学校後援会)
- 青木 多喜子 (プール学院中学校高等学校PTA 副会長)
- 植野 雄司 (プール学院大学・短期大学部)
- 赤土 壽典 (プール学院大学・短期大学部)
- 藤井 竜平 (プール学院中学校高等学校)
- 楠原 博次 (学校法人プール学院)



2016年度の活動予定とご支援頂く費用の概算

中学・高校部門

- * グローバルチャレンジプログラム (ニュージーランド留学他) : 約15万
- * タイ ボランティア・スタディツアー : 約10万
- * 勝山キャンパスにおけるピオトープの整備 : 約30万



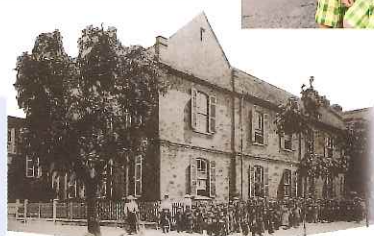
大学・短大部門

- * フィリピン研修 (CUAC国際サービスマーケティングプログラム) : 約20万
- * 東日本大震災ボランティア活動 : 約50万



法人・学院部門

- * プール学院資料室の整理調査費用 : 約40万
- * プール学院資料集 (2) の作成補助 : 約30万



オクスラド基金について

はじめに

英国聖公会の宣教師で「東洋女子教育協会」から派遣された、ミス・オクスラドが1879年（明治12年）6月2日に大阪川口居留地4番の自宅で女学校を設けたのが、プール学院のはじまりです。2019年に140周年を迎えるにあたり、本学院の歴史の歩みを確認しつつ、使命の実現に向けて、創立者名を冠とする基金を発足させ、創立150周年に向けてのさらなる発展充実の礎といたします。

目的と使途

創立150周年に向け、新たな発展を目指すための礎として、以下の目的と使途を考えています。

- * 教育研究の支援：勝山キャンパス（中学校・高等学校）の保守と設備の充実、泉ヶ丘キャンパス（大学院・大学・短期大学部）の施設整備と改修をし、快適な教育環境をめざします。
 - * 特別活動の支援：学生・生徒のボランティア活動やクラブ活動のより一層の積極的な活動をめざします。
 - * 奨学生への支援：学生・生徒への奨学資金の充実をおこない、学びの支援をおこないます。
- 使途につきましては、オクスラド基金規程に基づき、オクスラド基金委員会で決定します。

目標

10億円

期間

2013年6月2日（134周年創立記念日）～2029年度末（150周年）
《第1期：2013年6月2日～2019年6月1日》
《第2期：2019年6月2日～2029年度末》

募金の方法について

● 個人の皆さまへ

[ご入金方法]

以下の方法によりご入金をお願いいたします。

① 銀行振込

銀行名：三菱東京UFJ銀行 今里支店

口座番号：普通預金 No. 1136329

口座名義：学校法人 プール学院

② 郵便振替

口座番号：00980-6-95144

加入者名：学校法人 プール学院

③ インターネットのご利用

中学校・高等学校および、大学・短期大学部のホームページからクレジットカードでご寄付がいただけます。

④ その他

直接にご持参いただくこと、またご自宅等へお伺いすることも可能です。

[寄付金の免税措置について]

寄付金の額が2,000円を超える場合には、その超える金額の40%相当額（所得税額の25%を限度）を個人の所得税額から控除ができます。詳しくは募金室までお問い合わせください。

● 法人の皆さまへ

- * 専用の振込用紙がございますので、誠にお手数ですが、募金室までご連絡をお願いいたします。
- * 寄付金全額を損金に算入できます。

◆ 遺贈によるご寄付について

オクスラド基金へのご寄付は、不動産・株式等の現物でも譲渡所得が非課税となります。
遺贈として本基金にご寄付をお考えの方は、募金室までお問い合わせをお願いいたします。
信託銀行等のご紹介も可能です。

◆ 私立の学校にとり、「募金」は教育活動の源泉です

「大学教育60周年記念募金」「勝山校舎建築募金」につきまして、多くの方々のお祈りとご寄付をいただき終了をいたしました。心から感謝申し上げます。
プール学院の「募金」は、入学時にお願いをいたしております「教育振興募金」と年間を通じての募金として、「オクスラド基金」の二つとなります。何卒趣旨をご理解いただき、積極的なご寄付をお願い申し上げます。

何かお気づきの点などがございましたら、誠に恐縮でお手数をおかけしますが、下記までご連絡を頂ければ幸いです。
なお、ご寄付により本学が取得しました「個人情報」につきましては、本基金に関する業務（お礼状・領収書の送付、ご寄付芳名録作成等）にのみ利用させていただきます。

オクスラド基金のご報告

ご確認のお願いを申し上げます

ご報告にあたり、以下をご留意くださいますようお願いいたします。

- * 下記「オクスラド基金受入状況報告」は、発足から、本年5月31日までにご寄付（ご入金）をいただいた状況を掲載させていただいております。
- * 申込書に「掲載は辞退」とのご指示をいただいております以外は、副委員長会議等にて協議し決定した分類に基づき、前回と同様に掲載させていただきました。
- * 敬称は省略させていただきました。
- * ご芳名につきましては、右面の通りでございます。なお、ご報告の形式等につきまして、皆様からの前向きなご提案とご意見をお願いいたします。
- * 万が一、ご芳名等の間違い等がございましたら、お詫び申し上げるとともに、誠にお手数ですがご連絡賜りますようお願いいたします。

オクスラド基金受入状況報告

2016. 5. 31. 現在 (単位: 件、円)

期 間	2015年3月31日までの受入		2015年度受入		2016年4月1日～ 5月31日までの受入		合 計		参考 (申込予約)	
	入金件数	金額	入金件数	金額	入金件数	金額	入金件数	金額	未入金件数	金額
1. 保 護 者	98	4,490,520	38	1,908,520	6	181,120	142	6,580,160	1	20,000
中学・高校保護者	86	4,363,520	36	1,888,520	4	146,120	126	6,398,160	0	0
大学・短大保護者	12	127,000	2	20,000	2	35,000	16	182,000	1	20,000
2. 教 職 員	137	9,920,202	56	3,354,100	8	2,850,000	201	16,124,302	2	170,000
教職員 (現職)	73	2,984,232	26	1,575,100	3	1,770,000	102	6,329,332	1	20,000
教職員 (旧職)	64	6,935,970	30	1,779,000	5	1,080,000	99	9,794,970	1	150,000
3. 一般社団法人 POOLE 〈プール学院同窓会〉	221	7,330,349	91	3,769,155	8	189,000	320	11,288,504	1	2,400,000
本部同窓会	176	6,117,349	68	3,247,155	6	185,000	250	9,549,504	0	0
大学同窓会ミツパ会	42	1,143,000	22	492,000	2	4,000	66	1,639,000	1	2,400,000
支部など	3	70,000	1	30,000	0	0	4	100,000	0	0
4. 後援会 (中学・高校)	23	1,268,866	9	160,000	1	100,000	33	1,528,866	0	0
5. 教会関係	4	660,000	0	0	0	0	4	660,000	0	0
6. 役員・評議員	18	2,390,000	3	140,000	1	50,000	22	2,580,000	0	0
役員・評議員 (現職)	13	1,340,000	2	40,000	1	50,000	16	1,430,000	0	0
役員・評議員 (旧職)	5	1,050,000	1	100,000	0	0	6	1,150,000	0	0
7. 企 業 ・ 団 体	5	422,000	5	590,000	0	0	10	1,012,000	0	0
8. そ の 他	15	312,130	10	180,803	3	38,800	28	531,733	0	0
合 計	521	26,794,067	212	10,102,578	27	3,408,920	760	40,305,565	4	2,590,000

オクスラド基金 寄付者ご芳名

～感謝をもって領収させていただきました～

(期間：2015年6月1日～2016年5月31日)

■100万以上

笠原敦子
増成恒哉

■50万以上

今田三映子

■10万以上

井上るみ子
大塚陽子
木川田一郎
桜井和之
杉山修一
鈴木光子
寺田良
名出草苑子
福井澄郎
水谷優子
山下浩幸
吉野昭子
吉村典子
脇阪博之
和田博幸

匿名 2名

■5万以上

茨木吉昭
大坪栄子
奥井浩子
粕谷美光
崎間由紀子
深田節子
藤田知克子
藤田法子
古川和子
三宅照子
山下秀子

匿名 1名

■5万未満

青木多喜子
秋山公子
阿部紀子
井篁尚樹
磯啓子
井上進次

今西ウララ
植下五郎
上西暁代
内田佐知子
内田由里子
埋田怜子
大内奈津美
大熊豊子
大島寿子
太田幸彦
大山秩子
岡田修昌
岡裕子
角谷聖浩
数田陽子
加藤明宏
金森壽美子
川口カナエ
川田頼子
木村俊一
楠庸子
楠下清子
楠原博次

熊谷真弓子
倉橋その恵
後藤陽子
小池一郎
古東真智子
小西紗代子
小原登志子
小林千枝子
小溝純子
斉藤之子
坂上実岐
佐々木淳
澤田秀子
柴原祐子
杉山克枝
杉岡比呂子
高木正江
高橋好美
高屋尚子
竹田和世
竹中美代子
竹林徑一
竹村定子

田中一栄
田中素子
田中宏子
辻昭代
出野ゆり
出野有沙美
寺内瑠美子
戸田絵理
中川由香莉
中島代喜子
中村ゆみこ
西尾友里
西村逸郎
西山千代
裕敦子
橋爪栄満子
橋本京子
原徹
平岡啓子
平川智枝子
福田紀子
藤井英世
藤田三奈子

藤原秀興
益岡淳一
松尾有希子
松本多貴子
丸谷昌代
南田博美
南出和余
宮澤喜代美
森義男
森井秀子
棚沢敬子
山下なほみ
山根貞夫
梁姫子
匿名 2名

■お名前のみ

五十嵐泰子
井上修一
児玉哲也
丹沢真理子
田中榮子
中山浩子

■50万以上

匿名 1企業

■10万以上

プール学院大学同窓会ミヅパ会
プール学院中学校・高等学校後援会

■5万以上

プール学院高等学校104回生一同
プール幼稚園
成人祝福礼拝時献金

プール学院大学

大学祭大学教職員バザー
株式会社 阪南ビジネスマシン

代表取締役 河野輝久教
プール学院中学校高等学校 PTA

■5万未満

短大七期生クラス会 (三・三会)
プール学院同窓会 九州支部
プール学院中学校高等学校
PTA 実行委員会一同

2015ばいぶるカフェ参加者

プール学院73回生D組有志
晴美台校区自治連合会
横塚台校区自治連合会
ムーグ建築設計室 牧野 敬一
プール学院中学校・高等学校

「文化祭」募金箱

■お名前のみ

株式会社 西川造園

*なお、お名前・団体法人等の表記は、受領書記載の通りにさせていただいておりますので、ご了承ください。

お願いいたします

第84号プール学院報(来年3月頃発行予定)とともに、オクスラド通信第4号の発刊を予定しています。
第3号および次回(第4号)に向けてのご意見ご感想をお願いいたします。

東日本大震災被災地訪問 活動報告

日程：2015年8月13～15日
 訪問先：宮城県石巻（大川小学校跡、門脇地区）
 福島県相馬郡新地町（仮設住宅「がん小屋」）
 福島県相馬市（磯部中学校、相馬市役所 ほか）
 宮城県名取市閑上地区、仙台市荒浜地区



生徒の被災地体験レポート

自分の目と耳で

高ⅢD（訪問時 高Ⅱ） 亀井 桃果

私は今回、現地を訪れ被災者の声を聞きましたが、そこで毎回思ったのは自分の目で見て自分の耳で聞かないと、真実なんて分からないということです。訪問して地震や津波や原発がどれだけの人を亡くし苦しめたか、本当は自分が思っていたはるか上をいって、自然の恐ろしさを知ることができました。本当に行ったら良かったし、何も知らないままこれからの人生を生きていくより、少しは知ることができたので、とても貴重な経験ができました。今回思い切って東日本大震災の被災地を訪ねることができたのは、先生方のフォローとオクスラド基金の援助があったからだと思います。ありがとうございました。

ニュースにならないこと

高ⅢB（訪問時 高Ⅱ） 竹本 奈央

今回の震災は津波だけでなく放射能による被害もあり、自然の生物や植物にも影響があったことを知りました。福島産の食べ物は買ってくれなかったり、学校でのいじめ、結婚をやめるなど、被害で悲しい思いをしたうえに、そんな思いをしなればいけないと聞き、胸が痛くなりました。ニュースにはならないことも、いろいろ教えていただきました。震災から4年経った今、もっともっと詳しく調べてみたいと思いました。今回、被災地に住む人たちに会って、お話しができて良かったと思います。オクスラド基金を使わせていただいて、被災地を訪ねたこと、その体験と思いを多くの人に伝えていこうと思いました。

メディアコントロール

高ⅢA（訪問時 高Ⅱ） 山崎 由真

お話しくださる方々が必ず口にする言葉があった。それは「メディアコントロール」という言葉だった。テレビを見ているだけでは知らなかった、日本のイメージを守るためだけの「メディアコントロール」。そして減らない放射線量と増え続ける汚染されたゴミ。私たちにできることがまだまだたくさんあることが分かった。今回の体験を周りにいる友だちや家族、そしてできるだけ多くの人に伝えていかなければならないと感じた。基金からの補助ありがとうございました。



CUAC 国際サービス・ラーニングプログラム報告

2016年2月15日から3月4日の19日間、フィリピン研修に参加した7名がアジア・トリニティ大学にてサービス・ラーニングを行いました。立教大学（東京）、聖路加看護大学（東京）、聖公会大学（韓国）、イースター大学（フィリピン）、アジア・トリニティ大学（フィリピン）からも学生41名が参加し、3ヶ国混合の4グループに分かれました。各グループは、アジア・トリニティ大学が30年以上にわたってボランティア活動に携わっている4つの貧困地域に派遣されました。

学生たちは、昨年始まった Development Project の1つである「幼稚園プログラム」に参加し、コミュニティの清掃も行いました。簡単な遊びを取り入れた自己紹介の方法、屋外での運動、食前の手洗いや食後の歯磨き、ゴミをゴミ箱に入れることなどを子どもたちに徹底して教え、現地での交流を通してフィリピンの貧困について学びを深めました。午前中にサービス・ラーニングを行い、午後は英語を用いて午前中の活動の振り返りを行いました。また、開会式と修了式では、学生たちは十分に事前準備を行い、出身国の文化や伝統的な踊り、歌などを披露しました。

昨年と同様、このプログラムは次の4つを経験できる素晴らしい機会となりました。①3ヶ国の学生が集っての異文化間交流、②貧困地域に住む子どもたちとのサービス・ラーニング活動、③2週間の実践英語学習、④フィリピン文化と社会について実践学習。

学生のレポートからは、フィリピンのストリートチルドレンの状況や貧富の差、スラム街での厳しい環境の中でも明るく振

る舞う子どもたちの笑顔や、「幸せだ」と言う子どもたちの言葉に、深い衝撃を受けた様子が伝わってきます。言葉の壁を越えて3ヶ国の学生が共同生活をしながら、貧困地域でサービス・ラーニングを行った約3週間は、学生たちにとって忘れられない貴重な経験となったようです。オクスラド基金からのご支援をいただき、大変有意義な研修を実施できたことに心から感謝し、2016年度もこの活動を継続したいと願っています。





ご寄付の 思い

短期大学20期生 水谷 優子 (大澤)

今回はオクスラド基金にご奉仕をさせていただきました。
わたしと娘のよき御恩返し之机に感謝します。

わたしは、プール学院短期大学で、娘はプール幼稚園で3
年半、ご縁がありました。

想い起こせば、高校三年生の冬、幼な馴染みのお姉さんの
「プールは歴史があるから、就職がいいのよ」との一言がわ
たしと「プール」との出会いでした。

母から贈られたスーツに身を包んで、門をくぐった日は、
忘れられません。2年間という短い時間でしたが、秘書科で、
社会人の基礎を学びました。印象に残っておりますのは、帝
国ホテルでのテーブルマナー実習。初めて体験する豪華な空
間に、大人になったような気がしました。

卒業時には、就職課に親身なお世話をいただき、プールの
卒業生が多く在籍する中堅企業の経理課へ就職できました。

縁あって結婚し、すぐに娘を授かりました。そして、娘が
3歳になり、どの幼稚園にするか決めかねていた際、ふと校
友会のご案内でプール幼稚園の存在を知りました。

すぐにプレ幼稚園に申し込みました。そこで、大坪栄子園
長先生の太陽のようなお人柄に触れ、自宅からかなり距離が
あるにもかかわらず、「ここしかない！」と入園を決めました。
人見知りの娘は、プールのOBである大坪園長先生、西田
紀子先生をはじめとする皆様に慈しんでいただき、大きく成
長し（ややお転婆になり）、この春、満面の笑顔で幼稚園を

～暖かいお気持ちとご寄付を頂戴いたしました～

本年4月にインターネットを通じて、オクスラド基金へのご寄付を頂戴いたしま
した。その連絡事項に記されたお言葉に感動し、この度オクスラド通信第3号へ
のご寄稿をお願いしましたところ、ご快諾を賜り以下の文章をお寄せいただきました。
心から感謝しつつ掲載をさせていただきます。ありがとうございました。

卒業しました。

不安そうな娘をもっと不安な顔で送り出したお泊り保育、
はらはらして見守った運動会の組立体操、プール幼稚園に来
園されたおおたか静流さんのコンサート、プール学院中学高
等学校の清心館にお招きいただいて拝見した中学高等学校吹
奏学部の皆さんの妖怪ウォッチの感動的な演奏、天使に扮し
た娘が捧げ持つ燭台のきらめきを見つめたクリスマス礼拝等、
プール学院には、わたし達親子の思い出がいっぱいです。

5月28日には、プール幼稚園にて、新卒園生のための「ホー
ム・カミング・デー」が開かれました。娘は大坪園長先生や
懐かしい友達に会えて、大はしゃぎでした。プール幼稚園は、
卒園後も、卒園生が園に帰る機会をたびたび設けて下さいま
す。本当に嬉しいことです。

わたしと娘、二人のプールのOBとして、今回のオクス
ラド基金を通じまして、「プール」が、永遠に輝き続けるこ
とを心から祈念致します。



学校法人 プール学院

プール学院中学校・高等学校・法人本部

〒544-0033 大阪市生野区勝山北1-19-31
電話 (06) 6741-7005(代) F A X (06) 6731-2431
ホームページ <http://www.poole.ed.jp>



プール学院大学・プール学院大学短期大学部

〒590-0114 堺市南区槇塚台4-5-1
電話 (072) 292-7201(代) F A X (072) 293-5525
ホームページ <http://www.poole.ac.jp>



一般社団法人 POOLE (プール学院同窓会)

〒544-0033
大阪市生野区勝山北1-11-43
(プール学院会館内)
電話 (06) 6715-0820
F A X (06) 6710-4410
ホームページ <http://www.poole-obog.com/>



大阪府内の聖公会関連学校

学校法人 トリストラム学園 プール幼稚園

〒546-0023
大阪市東住吉区矢田3-2-18
電話 (06) 6698-7700
F A X (06) 6698-7290



桃山学院大学

〒594-1198
和泉市まなび野1-1
電話 (0725) 54-3131

桃山学院中学校・高等学校

〒545-0011
大阪市阿倍野区昭和町3-1-64
電話 (06) 6621-1181

聖バルナバ助産師学院

〒543-0032
大阪市天王寺区細工谷1-3-18
電話 (06) 6779-1675

博愛社学園幼稚園

〒532-0028
大阪市淀川区十三元今里3-1-72
電話 (06) 6302-2095